

ブラウザ版とSMILEクライアント版でできることの主な違い

No.	カテゴリ	項目	ブラウザ版	SMILEクライアント版	備考
1	画面の作成関連	マスタータイプ画面の作成	○	○	
2		履歴タイプ画面の作成	○	○	
3		伝票タイプ画面の作成	○	○	
4		ブラウザ版で作成した画面の修正・削除	○	○	ブラウザ版の画面をSMILEクライアント版で修正した場合、その後の修正・削除はSMILEクライアント版で実施します。
5		SMILEクライアント版で編集した画面の修正・削除	×	○	
6		他のベース画面の項目の参照	○	○	画面作成時に、他の画面で作成した項目が参照できる機能です。SMILEクライアント版でのみ利用可能な機能や項目については、ブラウザ版では参照ができません。
7		作成した画面の修飾利用しての作成	×	○	作成した画面を修飾利用して作る画面のことを、SMILEクライアント版では「クローン画面」と表記しています。SMILEクライアント版では、「クローン画面」の作成が可能です。
8	項目に対する詳細設定	項目見出しの背景色の設定	○	○	
9		項目見出しや文字色の設定	○	○	
10		入力域の背景色の設定	×	○	入力域は、入力を行う欄等、文字や記号を入力する領域のことです。
11		入力域や文字色の設定	×	○	
12		郵便番号辞書機能の利用	○	○	SMILEクライアント版の「住所」項目では、「敬称」項目が付いている項目もあります。
13		システム日付の初期表示の設定	○	○	日付の入力で、今日の日付を初期表示します。
14		曜日の表示設定	○	○	ブラウザ版は短縮の表記のみですが、SMILEクライアント版であれば通常の表記も可能です。 (例) 短縮表記：(金) 通常表記：(金曜日)
15		画像の表示	○	○	ブラウザ版では画像ファイルを添付することで画像を表示しますが、SMILEクライアント版であれば、それに加えて画像ファイルのファイルパスを指定することで画像を表示します。
16		計算式の設定（関数の利用も含む）	○	○	ブラウザ版では、関数のサンプルで利用方法を確認することが可能です。
17		明細部の数値の集計（合計）	○	○	例えば、明細毎の金額の合計を総合計用の項目に集計し、表示することが可能です。
18	画面から作成可能な機能	作表（リスト）の作成	○	○	
19		一覧型形式の入力画面の作成	×	○	一覧型形式とは、Excelのように複数のデータを複数行に表示し、データの登録・修正・削除ができる入力画面です。
20		はがき印刷の作成	×	○	
21		宛名シール印刷の作成	×	○	
22		テキスト出力の作成	×	○	
23		テキスト取込の作成	○	○	
24		メニューの作成	○	○	SMILEクライアント版では、メニューレイアウトの編集も可能です。
25	Excel関連機能	Excelへの出力機能	×	○	台帳形式や伝票形式等、予め書式設定されたExcelのフォームに対し、登録したデータを項目毎にセルの位置を指定して出力することが可能です。
26		Excel項目の読込	○	○	画面設定用の項目として利用することが可能です。また、ブラウザ版であれば、更にExcel内に登録されたデータを直接取り込む機能もあります。
27	その他の機能	SMILEシリーズの他業務マスター参照	×	○	SMILEシリーズの販売の得意先マスターや商品マスター、人事給与の社員マスター等のデータの参照が可能です。
28		Enterキーによる項目移動	○	○	マウスだけでなく、Enterキーでも項目を移動することが可能です。
29		サンプルアプリの利用	○	○	
30		システム削除機能	○	○	ブラウザ版で作成・編集したシステムはブラウザ版で、SMILEクライアント版で作成・編集したシステムはSMILEクライアント版で削除することが可能です。